

市の組織
が変わり
ました

DX、産業強化で 成長力のあるまちへ

圏行政管理課
☎39・2208

推進体制の強化で DXを加速

あらゆる施策にデジタルの視点を取り入れ、長岡版イノベーションを基軸としたDX※を加速させるため、DX推進部を新設します。地域全体のDXを推進するDX政策課と行政サービスの向上や事務の

※DX（デジタル・トランスフォーメーション）…デジタル技術を取り入れ、市民生活や行政サービスをより良く変化させること



▶地域医療の確保に向け今年1月からスタートした山古志診療所のオンライン診療

効率化を進める行政DX推進課を設置し、デジタル技術を活用した新たな発想で課題解決に取り組みます。

産業と多分野の 政策連携を強化

産業とあらゆる分野の政策の部局横断的な連携を推進する産業政策監を配置。産業の強みを活かした新たな政策形成で地域経済を活性化し、成長力のあるまちづくりにつなげます。

地域産業を支える 人材確保を推進

若者の地元就職や高度外国人材の活用などで地域産業を支える人材を確保するため、産業立地課を産業立地・人材課に改称。人材・働き方政策室を設置し、多様な働き方や

男女ともに働きやすい職場環境づくりを進めます。

保健・医療の課題 へ細やかに対応

市民の健康づくりや地域医療の確保、感染症などの確に対応するため、健康増進課と保健医療課、感染症対策室を設けます。

支所業務を再編 拠点化を一部実施

6月1日、和島・寺泊・与板支所の土木・農林水産関連業務を集約し、和島支所内に北部地域事務所を設置します。職員の専門性を高め、所管する地域に向き現場対応に当たります。

なお、災害対応や身近な手続き、相談受け付けは今後とも各支所で行います。

独トリアーから3年半ぶりの訪問

姉妹都市との絆 対面の交流を再開

圏国際交流課 ☎39・2207

新型コロナウイルスの影響を受け、オンラインで続けてきた姉妹都市との交流。いよいよ対面での交流を再開しました。

2月、姉妹都市ドイツ・トリアー市の公式訪問団・独日協会の関係者が、ウィルス禍以降初めて長岡を訪問。長岡雪しか祭りの花火や栃尾・川口地域の魅力などを楽しんだほか、大学や市内の音楽団体など多くの市民と交流して友好関係を深めました。

ヨハン・アウバートさんに国際親善名誉市民証を贈呈
訪問に合わせ、同市との友

好の懸け橋として長年尽力したトリアー独日協会会長のヨハン・アウバートさんへ長岡市国際親善名誉市民証を贈りました。

スポーツ交流や青少年交流などを精力的に行い、これまで50回以上長岡を訪れたアウバートさん。贈呈式で「長岡花火に込められた慰霊と復興への想いは、いつも私の心に刻まれています。名誉市民の称号をいただいたことに心から感謝します」と話しました。市は今後も同市との交流を続け、友好の絆を深めていきます。



(左から) 磯田市長、長岡市国際交流協会理事長の原和彦さん、ヨハン・アウバートさん、トリアー市長のフォルフラム・ライベさん（2月18日）



▶トリアー市立劇場のアーティストと市内の音楽団体の交流（2月17日）

トピックス **ホノルルで4年ぶりに
花火打ち上げ**

姉妹都市アメリカ・ホノルル市で、文化交流の祭典「ホノルルフェスティバル」が4年ぶりに開催されました。長岡の観光や花火のPRを行い、ホノルル市民に長岡の文化を紹介。夜空には、平和を祈る長岡花火が打ち上がりました。

▲天人地花火（3月13日。現地時間12日）

返礼品の多彩さが人気！ ふるさと納税 今年も最高額



ふるさと納税による寄付が伸びています。令和4年度は2月末時点で99、236件、23億6千8百万円と件数、額ともに過去最高となりました。返礼品には、お米などの食品から学生の手作り品まで長岡の魅力が光る850種類が勢ぞろい。また、楽天市場などポータルサイトを通じた情報発信の強化が寄付金額を押し上げ、地域経済の活性化につながっています。

寄付金は人材育成やデジタル化推進などの施策に活用します。市外の家族や友人などにぜひご紹介ください。

圏広報・魅力発信課 ☎39・5151

自慢の逸品、全国に発信

ふるさと納税返礼品に登録を
長岡の魅力を広く発信するお礼の品を募集します。地域産業のPRや商品の販路拡大につながります。

▲詳しくはこちら

越後交通(株)と災害連携協定 EVバスで電源確保へ

圏危機管理防災本部 ☎39・2262

市は3月18日、災害時にEVバスの電源を活用する連携協定を越後交通(株)と締結しました。

3月から中央環状線「くるりん」で運行がスタートした、電動のEVバス。快適な乗り心地で環境にやさしいことに加え、スマートフォン約2万5千台分の充電が可能な大容量バッテリーを搭載しています。

今回の協定で、大規模停電の際に、避難所へEVバスの電力を供給できるようになります。

市は今後も、地域や企業と連携した防災対策を進めていきます。

★EVバス出発の様子
は市政ニュース動画で



▶出発式で市内を走行したEVバス。約100人が試乗し、乗り心地を体験しました。



▶バスからの電力供給の実演。ACコンセントや車内のUSB電源から直接利用できます。